

Windows パソコン活用ガイド (4)

－ ホームページの作り方 －

赤坂 浩一 * 石橋 勇人 *

1 はじめに

巷では相変わらずインターネットブームで、WWW(World Wide Web) や電子メールなどインターネットを利用する機会がますます増えてきています。特に、WWWによる情報提供は、企業や大学などは組織をあげてホームページを作成しており、また、個人レベルでもそれぞれユニークなホームページを作成して、情報提供をしているように感じます。

京都大学大型計算機センター(以下、本センター)でも、WWWによる情報提供を1994年春頃より開始しました。また、1997年1月より、本センターの利用者の方は、汎用UNIXシステム(以下、sakura)上でユーザホームページを開設できるようになっています。

今回の「Windows パソコン活用ガイド」では、パーソナルコンピュータ(以下、PC)を使った、ホームページの作成方法について紹介します。

2 HTML とは

まず、はじめにWWWについて簡単に説明しておきます。

WWWは、インターネットを使って簡単にマルチメディア情報の提供を相互に行うシステムで、情報を提供する側のサーバと提供される側のクライアントから構成されます。

WWWで扱うマルチメディア情報は、表示している情報から別の情報を参照(リンク)するように指示ができるハイパーテキスト形式となっています。

サーバとクライアントの間は、HTTP(HyperText Transfer Protocol)というプロトコルでデータの受渡しを行っています。

一般的にホームページとは、WWWサーバに

置かれたデータの中で、HTML(HyperText Markup Language)と呼ばれるマークアップ言語で記述されているテキスト形式のデータです。

このHTMLの特徴は、データとしてテキストデータだけでなく、静止画・動画・音声などを扱うことができることです。

3 HTML エディタ

HTMLファイルは、テキスト形式のファイルなので、テキストエディタを使って手でHTMLタグを書いて作成することもできますが、GUI(Graphical User Interface)を利用した、直感的に操作が可能なHTMLエディタが多くあります。

現在、Windows95で手軽に利用できる代表的なHTMLエディタとしては、次の2つがあります。

- Microsoft FrontPage Express
- Netscape Page Composer

この他にも、何種類かのHTMLエディタが市販されていますが、上記の2つについて簡単に紹介します。

3.1 Microsoft FrontPage Express

Microsoft社のMicrosoft FrontPage Expressは、Microsoft Internet Explorer 4.0(以下、IE4.0)をインストールするときにオプションで選択することで使用できるようになります。

入手方法は、Microsoft社のWWWサーバ <http://www.microsoft.com/japan/ie/> からダウンロードすることができます。また、PC雑誌の付録のCD-ROMから入手することも可能です。

FrontPage Expressを利用する場合は、IE4.0のインストール時に「完全インストール」を選択して

* あかさか ひろかず, いしばし はやと (京都大学大型計算機センター)

ください。「標準インストール」では、インストールされません。

すでに、「標準インストール」で IE4.0 をインストールされている場合でも、後から「完全インストール」でインストールされる部分を追加でインストールすることができます。

3.2 Netscape Page Composer

Netscape 社の Netscape Page Composer は、Netscape Communicator をインストールすることで使用できるようになります。現在、バージョン 4.04 がリリースされています。

入手方法は、Netscape 社の WWW サーバ

<http://home.netscape.com/ja/>からダウンロードすることができます。

また、PC 雑誌の付録の CD-ROM から入手することも可能です。

4 ユーザホームページ

ユーザホームページを開設するには、sakura のホームディレクトリの下に public_html という名前のディレクトリを作成します。これにより、Web ブラウザから URL¹(Uniform Resource Locator) として、<http://www.users.kudpc.kyoto-u.ac.jp/~w55037/> を指定してあなたのユーザホームページにアクセスできるようになります。

上の例は、利用番号が w55037 の場合です。

ユーザホームページを公開するためには、この public_html ディレクトリに対して誰もがアクセスする必要がありますので、次のように sakura に login して、パーミッション (許可) を設定します。また、同様にホームディレクトリにもパーミッションを設定します。

```
% chmod o+x ~/.
% chmod o+x ~/public_html
```

Web ブラウザから <http://www.users.kudpc.kyoto-u.ac.jp/~w55037/> をアクセスすると、実際には public_html ディレクトリの中の index.html という名前のファイルがアクセスされます。

このファイルが、あなたのホームページのメインページとなりますので、まず、この index.html という名前の HTML ファイルを用意します。

¹アクセスする場所とその方法を示すもの

また、public_html ディレクトリの中の公開する HTML ファイルやディレクトリに対しても、やはり、誰もがアクセスできるようにパーミッションを設定する必要があります。

ファイルに対しては、

```
% chmod o+r ファイル名
```

ディレクトリに対しては、

```
% chmod o+x ディレクトリ名
```

のように指定します。

なお、ユーザホームページの利用は、学術目的に限定されています。

5 FrontPage Express

今回は、FrontPage Express の利用方法を紹介します。FrontPage Express を例にした理由は、IE4.0 が実質的にフリーソフトのようなもので、入手が比較的容易であるからです。

FrontPage Express は、HTML タグを知らなくても直感的に HTML ファイルを作成することができる HTML エディタです。Web ブラウザで見ると同じようなページを、ワードプロセッサを使うような感覚で作成することができます。

作成するページに直接挿入したテキストや画像・表などは、自動的に HTML タグ付きのテキストファイルに変換されます。

5.1 起動

IE4.0 を「完全インストール」でインストールしている場合、タスクバーの「スタート」をクリックし、メニューから「プログラム」「Internet Explorer」「FrontPage Express」を選択して起動すると、図 1 のような「FrontPage Express」のウィンドウが開きます。

このウィンドウに直接、テキストや画像を書き込んでページを作成します。

5.2 簡単なページの作成

まず、あなたのユーザホームページのメインとなるページを作成しましょう。

本文となるテキストを作成する前に、タイトルや背景、作成するページの漢字コードなどに関する設定を行います。

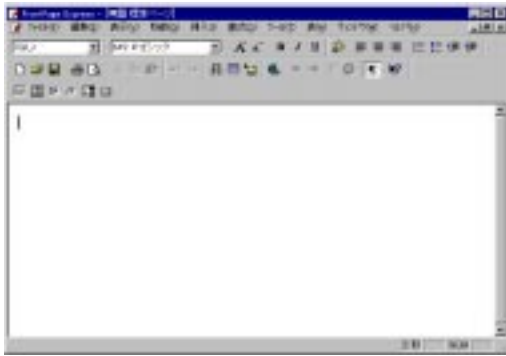


図 1. 「FrontPage Express」

メニューバーのファイルをクリックし、メニューからページのプロパティを選択して、図 2 のような「ページのプロパティ」のウィンドウを開きます。

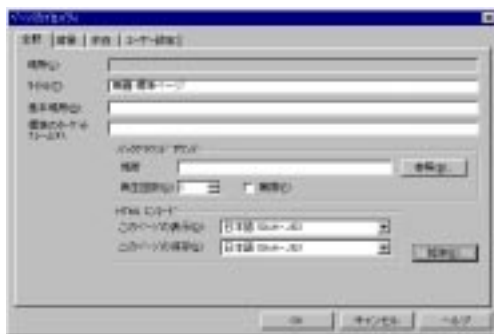


図 2. 「ページのプロパティ」

「ページのプロパティ」のウィンドウには、左から「全般」「背景」「余白」「ユーザー設定」の 4 つのパネルがあります。

「タイトル」の欄に、このページのタイトルを記入します。ここで記入したタイトルが、Web ブラウザのウィンドウのタイトルバーに表示されます。

「HTML エンコード」の枠の「このページの表示・保存」のそれぞれの欄には、ドロップダウンリストから扱う文字コードを選択します。日本語のテキストを作成する場合、漢字コードには JIS、EUC、Shift-JIS から選択します。

タイトルと HTML エンコードの設定が完了したら、「OK」をクリックしてウィンドウを閉じます。

図 3 は、FrontPage Express で作成した簡単なページです。

ページのタイトルには「赤坂浩一のホームページ」を記入し、本文には、見出し 1 で「赤坂浩一の



図 3. 「ページの作成例」

ホームページ」を書き、次に水平線を挿入し、記号付きリストで、「自己紹介」「最近のお仕事」「ぼくの夢」を書き、また、水平線を挿入して、アドレスで、メールアドレスの「akasaka@kudpc.kyoto-u.ac.jp」を書き、最後に標準で、「最終更新日 98/02/01」を書いてみました。

太字の部分が HTML のスタイルで、テキストを入力する前にドロップダウンリストで使用するスタイルを選択しています。

5.3 作成したページの保存

作成したページを保存するには、メニューバーのファイルをクリックし、メニューから名前を付けて保存を選択すると、図 4 のような「名前を付けて保存」のウィンドウが開きます。



図 4. 「名前を付けて保存」

「ページの場所」の欄には、<http://www.users.kudpc.kyoto-u.ac.jp/~w55037/index.html> を記入し、「ページタイトル」の内容に間違いがないことを確認して「OK」をクリックすると、図 5 のように「ネットワークパスワードの入力」のウィンドウが開きます。

「ユーザー名」と「パスワード」の欄に、sakura の利用番号とパスワードを入力し、「OK」をクリック



図 5. 「ネットワークパスワードの入力」

くと、sakura の public.html ディレクトリの下に index.html の名前で HTML ファイルとして保存されます。

図 4で、「ファイルとして保存」をクリックすると、PC のハードディスク等に保存することができます。

6 SAMBA を利用したページの保存

sakura に用意されている SAMBA を利用することにより、sakura のファイルを PC 本体のハードディスクと同じように使用できますので、PC から sakura の public.html ディレクトリに自由にファイルやフォルダー（ディレクトリ）を作成することができます。

public.html ディレクトリの下に作成するホームページ用のファイルやフォルダーは、誰もがアクセスできるようにする必要がありますので、これから紹介する方法で sakura の public.html ディレクトリを直接 PC から利用できるようにネットワークドライブの割り当てを行ってください。

デスクトップのネットワークコンピュータのアイコンをマウスの右ボタンでクリックし、メニューからネットワークドライブの割り当てを選択すると、図 6のような「ネットワークドライブの割り当て」のウィンドウが開きます。



図 6. 「ネットワークドライブの割り当て」

「ドライブ」の欄はお使いの PC の空きドライブを指定し、「パス」の欄には、コンピュータ名とし

て \\sakura と sakura の利用番号が w55037 の場合は、利用番号の先頭の英字 w に続けて _html を次のように入力し「OK」をクリックします。

`\\sakura\w_html`

sakura の利用番号の先頭の英字が a の場合は、`\\sakura\a_html` のようになります。

「ネットワークパスワードの入力」のウィンドウが開き、パスワードの入力を促してきましたら、sakura のパスワードを入力して「OK」をクリックすると、指定したドライブに sakura の public.html ディレクトリが割り当てられ、PC から直接使用できるようになります。

このようにして、public.html ディレクトリをネットワークドライブとして割り当てて使用すると、PC からファイルやフォルダーを作成する時に自動的に誰もがアクセスできるようにパーミッションが設定されるようになりますので、FrontPage Express で作成したページを保存するときに、後からパーミッションを設定する手間が省けます。

7 おわりに

以上、PC を使ったホームページの作成方法を簡単に紹介しましたが、紙面の関係から詳しく紹介することができませんでした。また、機会がありましたら是非、この続きとしてもう少し詳しく紹介したいと思っています。

この記事に関して、ご意見・ご質問などございましたら、プログラム相談室までご連絡ください。

